

合格体験記

H.T (男性/会社員)

2019 年初頭から勉強を開始し、足掛け 4 年、二次試験 4 度目の挑戦で合格出来ました。MMC には、2020 年～ 1 年間+a お世話になりました。キーワードマトリックス等の教材や MMC の過去問解答などを徹底的に研究し、根っこの部分を理解しようとしたことが、この度の合格に繋がったと思っており、MMC の諸先生方には大変感謝しております。

いつもは読む側であった合格体験記を、今回は書かせて頂く側になったということで感無量です。

1. 診断士に挑戦した理由:

- 今後の人生を考え、少しでも価値ある資格を取得したかった為。
- 御世話になった中小企業の皆様に少しでも恩返しが出来れば、と思っていた為。

2. 受験歴:

2019 年 : 1 次合格 独学 448 点
2 次不合格 BAAB(総合 B) 1 次/2 次とも独学

2020 年 : 1 次免除
2 次不合格 ACBB(総合 B) MMC (通学)

2021 年 : 1 次合格 独学 504 点
2 次不合格 ABAC(総合 B) MMC (財務オプション/直前スパーリング)

2022 年 : 1 次免除
2 次合格 独学 (事例 I 67、事例 II 70、事例 III 49、事例 IV 80 合計 266 点)

3. 各年受験状況/反省点:

(1 年目)

一次試験 : 2019 年 2 月から勉強開始。某社テキスト、動画を一回転。TOC スピテキ、スピ問を 4 回転。過去問を 3 年分 1 回転。

二次試験 : 過去問 5 年分 2 回転、ふぞろいで採点。財務は、全知全ノウ 1 回転。

//反省点// 簿記が仕訳の段階から全く理解できておらず、財務で苦勞しました。そもそも全く受かる

気はしなかったですが、2 次試験点数が合計 236 点だったので、「あと少しで合格だ」と勘違いしたところが、多年度化した一番の原因だと思っています。財務を基礎から勉強すべきでした。何をやっているかの全く分からないのに、時短を目的に解法だけを丸暗記しようとしたことが、以後の財務の低空飛行に繋がりました。何事も基本が大切、という言葉が痛いほど体に刻み込まれたことは、今後の人生にとってはある意味収穫。

(2 年目)

二次試験： MMC 通学。MMC の教材/模試。財務集中講座等。

//反省点// ラクをしようとして型にはめすぎ、自分の頭を使わずに機械的に解答していたことが最大の反省点。自分の知っていることなどに解答が引っ張られやすくなり、与件/設問文から外れる case が多かった。試験本番では、事例Ⅱで、解答の対象を取り違える、といった瀕死の重大事故を起こしました。結果、これが足を引っ張り不合格となりました。物事をありのままに見る、読む、理解する、といった根本的なところが全く出来ていないと自覚しました。財務も丸暗記では歯が立たず。

(3 年目)

一次試験： 1 月～6 月で簿記を勉強、日商簿記 3 級を 3 月に、2 級を 7 月に取得。

TOC スピテキ、スピ問を 5 回転。過去問を 3 年分 3 回転。

二次試験： MMC (財務オプション、直前スパーリング)、過去問 5 年を 3 回転。

//反省点// 反省力の欠如。間違った問題に対し、解答を見て、「あーそうか」で終わらせていたところ。この反省力こそが勉強の本質であると、年度後半から気付き始めましたが、頭で分かっているだけで実務がついてきておらず。結果不合格。ただ、回り道でしたが、簿記の 3 級と 2 級を取得したことで財務力を底上げ出来たことが、結果的には非常に良かったです(R3 の事例Ⅳは相変わらず低空飛行でしたが)。

(4 年目)

二次試験： 2 月から簿記 1 級の勉強を開始。7 月から事例Ⅰ～Ⅳの過去問 20 年分を 2 回転。過去問の MMC 解答を要素ごとに分解し、因果で結びつけ、それをノートに記載して、「解答構造図」を作成。与件文と設問文から、どうしたらそうした解答構造図が導き出せるのかを徹底的に研究。問題を間違えた時には、どの課程でどう間違えたのか、次に同じようなミスを回避するには何を意識すべきなのか、等を必ず確認するようにしました。結果として、やっと、MMC のキーワードマトリックスが意味していることを(少し)理解できるようになりました。深いところで理解できると、応用が利くような感覚がありました。また、与件文の拾いモレ、読み間違い等を防止する為に、複雑な与件文や中小企業白書の企業事例を一枚のシートに図式化する練習を何度も行いました。財務に関しても、MMC の問題集をただ解くのではなく、その背景にある理論や考え方を簿記の知識と絡めて考えるようにしました。

4. MMC の良かったところ:

- 解答の型と Key Word の組み合わせで、どんな問題でもある程度対応出来る自信がつくこと
- 因果を意識した思考が身につくこと（仕事など日常生活においても非常に有益であると今更ながら実感しています）
- 先生方の授業内容に一貫性があり、納得感が高いこと(後から、「あ、あの時の先生はこのことを言われていたんだ」と遅まきながら気づくケースが多々ありました)
- 親身のご指導、我々の目線に合わせて、受験生に寄り添った内容でした
- 新型コロナの混乱時に、いち早く online での授業を取り入れ、丁寧な対応をして頂いたこと

5. 当日エピソード:

- 令和 4 年の問題はいつにも増して難しく、てんてこ舞いしながらやっとの思いで解答しましたが、試験後は、もっているものを全て出し切った、との思いが強く、ある種の爽快感がありました。これは今までには無い感覚で、「これで駄目なら向いていない、ということだから、もうヤメにしよう」と思ったのを覚えています。

6. これから合格を目指す皆様へ:

- よほどの才能のある人を除き、物事の上達にあまり近道は無いように思います。当方は、ラクをしようとして失敗しました。その点、しっかりと腹に落としたうえで、自分にあった効果的な勉強方法を編み出し、一つ一つの成果を積み上げるのが大切だと思います。
- 簿記の基礎知識はあった方が良いですが、それ以外は MMC の教材で十分でした。構成/切り口の鮮やかさ、因果の美しさを含有しながら、それでいて Simple な解答は、群を抜いているだけでなく、実際の社会人生活でも役に立つものと思っています。お世話になって本当に良かったです。色々回り道してきた今、自信を持ってそう言えます。

最後になりますが、徳川先生、伊藤先生、嘉津山先生、中矢先生、西先生 大変お世話になり、誠に有難う御座いました。MMCに通わなければ、合格は無かったです。改めて厚くお礼申し上げます。

以上